

地区懇談会だより

Vol.1

大柿地区

～みんなで取り組む、人吉市の復興まちづくり～

『地区別懇談会（第1回）』を開催しました 5月12日（水）18時～中原コミュニティセンター

甚大な被害や治水対策による影響が大きいなど、地区でまとまって問題解決に取り組む必要性の高い地区を「重点地区」として位置づけ、それぞれの地区ごとに「地区別懇談会」で話し合いを進めていくこととなりました。

大柿地区の**対象地区は、中神町大柿、小柿**です。

◆第1回地区別懇談会

1 復興計画、復興まちづくり計画についての説明

- ・復興計画等の概要説明
- ・これまでの校區別座談会の概要

2 地区ごとの話し合い

- ・治水対策についての質問
- ・想いや困り事などについて



大柿



小柿

懇談会の進め方について ～復興まちづくり計画の策定に向けて～

これまでの「校區別座談会」（2～3月に開催）での意見も踏まえつつ、令和3年度は「地区別懇談会」として、重点地区ごとに具体的な復興まちづくりの取組みの検討を進め、「復興まちづくり計画」に反映していく方針です。

◆地区別懇談会のメンバー

- ・対象地区内の町内会長や住民等で構成されたメンバーです。
- ・可能な範囲で、継続的な話し合いに参加いただけます。
- ・参加希望者は随時受け付けておりますので、本紙面末尾の復興支援課までお問合せください。
- ・年齢・性別を問わず、事業者も含めて、幅広い参加をお待ちしています。

◆地区別懇談会の進め方

- ・4～10月までの間に、概ね月1回（合計8回程度）の会議開催を想定しています。
- ・次回の開催予定：**6月18日（金）18時30分より** **大柿会場：中原小学校体育館**
小柿会場：小柿町公民館
- ・今後の開催日時や会議のテーマについては、参加者の要望を踏まえつつ、柔軟に対応していく方針です。

◇復興まちづくり計画とは

- ・復興計画を実現するために取り組むべき内容を検討・整理したものです。
- ・特に被害の大きい特定地域（重点地区）などを対象に、各地域の具体的な計画づくりを行います。
- ・住民主役の計画づくり（策定主体は主に住民）に対して、行政が支援し、計画策定をめざします。
- ・計画期間は、令和4～9年度の概ね6年間。（令和3年度からの一部実施も想定）

大柿地区の『復興まちづくりへの想い』について ～第1回懇談会の意見概要～

※第1回地区別懇談会における参加者の意見であり、決まった内容や事実確認をした内容ではありません。

項 目		復興まちづくりへの思いや困り事等について	
		大柿	小柿
避難対策	避難場所 道路	・大柿地区の緊急避難所をつくってほしい。 ➡南側の高台に避難所をつくれないう場所を検討中。 ・市道中神鹿目線を拡幅してほしい。	・高齢者が多い。地区の高台の空き家の所に避難施設を作るのはどうか？ ・県道人吉水俣線には、落下すると危険な箇所がある。早急に復旧してほしい。
	避難誘導 要支援者対策	・防災無線も復旧していない。	・指定避難所の中原小・西瀬小のどちらに行くべきか、明確な指示がほしい。 ・去年の水害時には午前2時に全員避難が完了。毎年、自主避難訓練を行っている。
生業再建・住まい再建	住まい再建 生業再建 復興まちづくり	・遊水地の計画、補償の内容がはっきりしないと将来のことは考えられない。 ・遊水地の測量以前に移転先を確保してほしい。 ・幹線排水路（農業排水）が手つかずの状態。生活排水も早急に復旧してほしい。 ・遊水地になっても農業は継続したい人いると思う。	・20世帯中、3世帯が地区外に移転した。 ・農地（2ha程度）は流木などで手付かずの状態。 ・県道人吉水俣線で、落下すると危険な箇所がある。早急に復旧してほしい。
	地域コミュニティ 地区への思い	・遊水地を設けると、集落はバラバラになってしまうのではないかと。 ・大柿地区のほとんどの住民が65歳以上。被災してすぐなら移転の考えもあったが、月日が経つと生まれ育った場所から愛着が湧き、離れがたい。 ・コミュニティの中心となる公民館をまずは再生してほしい。	・山は危険で将来が心配。子どもは帰って来るか分からず、住むかどうか同様に。将来は移転も考えねば。
治水その他	治水	・ダム湖の土砂撤去を早急をお願いしたい。 ・球磨川の広い川沿いの中に、竹・樹木等が沢山立っている。あの土砂等を取り除くと、かなりの遊水地としての効果があるのではないかと。	・川の中に流木が溜まっていて、市が処分するのか個人で処分するのか？用水路の暗渠や球磨川の支流も同様。 ・左岸側には雑木林のように木が茂っており不安である。 ・遊水地のエリアは、もう決まっているのか？
	治山 土砂対策	・農林整備課、道路河川課は復旧工事に連携して取り組んでほしい。 ・治山無くして治水はあり得ない。 ・五木から坂本までのトンネル掘削の構想はどうなっているのか。 ・大柿地区の流域治水に対する陳情書の扱いはどうなっているのか。	・小屋のある場所の斜面が崩れ、現在はビニールシートがかけられている。梅雨に入るため、工事がいつ行われるのか、不安。 ・小柿谷の上の所が崩れて来て、現在は大きい土のうが5つほど応急処置として設置されている。砂防ダムの下流の部分のため、心配である。
	防火対策		・水路は防火用水ではないが、水が流れない時もある。大福という店の横には水利が無い。 ・球磨川に河川の管理道路があるが、現在は土砂が溜まっていて吸管が届かないため要望したい。→水路は農業用水のため、防火用水（6～8畳分）の設置（500万円程度？）の新設が妥当ではないかと。
	その他		・高齢者も多いため、会議場所は小柿地区公民館で行って欲しい。 ➡可能であれば、本日要望などが出た場所はスマホで撮影しておいて戴きたい。